

## 今週の主な News

1. 外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業3
2. まちづくり出前講座の実施状況
3. 第 11 回女性とまちづくり研究会の開催案内

2024 年がスタートして3週間、今年もよろしくお願ひいたします。年明け早々の令和 6 年能登半島地震で被災された皆様には心からお見舞いを申し上げるとともに、一日も早い復旧復興を心よりお祈り申し上げます。

### ■外国人と共に暮らし支え合う地域社会の形成事業3

JSURP では休眠預金活用事業を活用し、資金分配団体として地域の社会的課題を解決する取り組みを 2020 年度から取り組んでいます。

外国人支援の第三弾として 2024 年 1 月より、「住まいの確保や孤立の解消、日本での暮らしの質の向上支援を通じた支え合いを豊かさにつなげるまちづくり」に取り組む実行団体の公募を開始しました。

対象となる実行団体は、日本に住む外国人や長期に滞在する外国人等に対し支援活動を行っている団体となります。また、民間公益活動を行う組織であれば、法人格の有無や種類は問いません(独立行政法人は除く)。

### ●助成概要

事業期間	2024 年 3 月頃から 2025 年 2 月末まで
総助成費	1 億 2 千万円
採択予定数	10 団体程度
助成金額	1 団体当たり 1,200 万円が上限
公募期間	2024 年 1 月 19 日～2024 年 2 月 16 日

### ●説明会・個別相談会・審査会のスケジュール

1 月 26 日 16 時～17 時	オンライン公募説明会 事前申し込み制。1 月 25 日 17 時までに <a href="#">こちらより</a> お申し込みください。
1 月 26 日 ～2 月 14 日	オンライン個別相談会 事前申し込み制。 <a href="#">こちらより</a> お申し込みください。1 回 1 時間程度、最低 1 回は必須となります。
2 月 16 日 23 時 59 分	審査書類締め切り 翌日以降、事務局による書類審査
2 月 20 日	一次審査結果通知
2 月 24 日 午後	オンライン二次審査会

### ●申請に必要な書類

申請書類様式 1～7、実行団体の積算の手引きは、[こちらより](#)ダウンロードしてください。

### ■まちづくり出前講座の実施状況

#### 1) 北海道夕張郡長沼町(文責:高鍋剛)

まちづくり出前講座～マスタープランからまちの未来を描く・共有 2023 年 12 月 15 日 長沼町役場～  
北海道夕張郡長沼町では、ラピダスの千歳進出、周辺市町村への移住促進等、町内の学校・病院等の公共施設建替え更新といった環境変化に伴い、これまで策定してこなかった都市計画マスタープラン並びに立地適正化計画の策定が急がれる状況にありました。こうした中、次年度以降、全庁的にこの動向に取り組むための素地の醸成を目指し、JSURP 出前講座を活用し、計画の策定やそれに基づく事業、制度の活用などのノウハウや目指すべき方向性について学ぶ場を設けました。

まず JSURP 高鍋から、「マスタープランの意義とまちづくりの戦略」と題したレクチャーを行い、その後、北海道大学建築都市部門教授、小篠隆生先生、JSURP 北海道支部近藤を交えたクロストークを行いました。また当日は庁内関係各課より 30 名以上の参加があり、「まちの未来像とまちづくりの方策」についてグルーブトークを行いました。

クロストークの中では、道内各地のまちづくりの事例も紹介され、計画によるビジョンのみならず、住民や企業との対話の重要性、アクションを創出することを通じた町の新たな価値やプライドの創出の重要性を共有しました。



#### 2) 薩摩川内市:(文責:内山征)

薩摩川内市は、鹿児島県北部の県第二の都市です。新幹線と在来線の駅、川内駅と川内川の間に、国道 3 号線が通り、その回りに、商店街が形成してきました。

この川内駅周辺地区において、ウォークアブルなまちづくりを目標に、地域主体のまちづくりを始動しました。

メンバーとしては、地域でまちづくり事業をしている方、商店主、企業、住民、学生等の方々で、公募によって集まりました。

昨年度は、薩摩川内市から JSURP への委託事業において、地域の方々が集まり、まちあるきやピクニックなどの活動を通じて、まちづくりプランを作成しました。

今年度は、プランの実践段階として、出前講座を開催し、具体の活動を計画しています。

今後 1 年間、駅前、川沿い、市役所、公園、コミュニティ施設、商店街など、まちなかの各所で、コーヒーワゴンをもっていき、コーヒーを振る舞いながら、まちに居る人か

ら、まちづくりについての意見を聴く活動を進めます。

1月の出前講座では、まちなかの公園に集まり、みんなでコーヒーワゴンを製作し、必要な機材や進め方を企画することとなっています。



### 3) 日立市日立駅周辺地区(文責: 内山征)

日立駅周辺地区では、大型商業施設の撤退に伴い、まちの再生が求められていました。大型商業施設があった建物を活用して、ヒタチエが開業し、ファミリー層を中心に賑わいが戻りつつあります。

このヒタチエを核として、周辺の商店街が広場の賑わいをつくるために、ウォークアブルなまちづくりを進めることとなりました。

このような中、今年度、日立市の呼びかけにより、まちづくりに興味がある方々が集まり、JSURPの出前講座に取り組むことになりました。

ヒタチエの運営会社、商店街の店主、事業者、大学生、東京に住む日立市出身者、市役所職員等が集まっています。

これまで2回の会議を開催し、まちづくり活動のアイデアを出し合いました。2月に企画会議を行い、2月23日に、小さなプレイスメイキングの社会実験を実施する予定です。

この活動は、出前講座が終わった後も、来年度以降、継続していく予定です。



### 4) 名取市(文責: 高野哲矢)

宮城県名取市でマルシェを開催している「ほっこりぬマルシェ」の皆さんより応募頂き、Shared Vision 右田さんがプロデューサーを担い、昨年10月に第一回目、12月に第二回の講座を開催しました。

第一回目は、「まちを盛り上げる担い手と街なかの活性化」をテーマに、Walk Worksの遠藤翼さん(栃木市)を講師にお招きし、空き家活用・シェアキッチン等の運営などプレイヤーとしての活動から、行政や企業とも協力してまちづくりのビジョンをまとめているお話を伺いました。参加者は、ほっこりぬマルシェの4名に加え、他のマルシェ団体や子ども食堂に取り組む皆さんなどが集まりました。

第二回目は、「みんなの居場所となるまちの拠点とプレイスメイキング」をテーマにアンドプレイスの高野(小浜市)を講師に、まちなかの拠点(店舗)の運営や重伝建地区の小浜西組内での通りを舞台に開催しているマルシェの事例紹介がなされました。当日はレクチャーの前に、名取駅前に集合し「名取駅周辺で居場所になりそうなポイント」を見つけるまち歩きも実施し、普段車での移動がほとんどという皆さんにとって、歩いて気付くポイントがたくさんあったようです。

1月下旬には第三回目を予定しており、全三回のまちづくり出前講座を終了する予定となっています。



### ■ 第11回女性とまちづくり研究会の開催案内

#### 【開催概要】

日時: 2月6日(火) 20:00~21:30(予定)

タイトル: <人生100年時代>まちとLIFEを考える

開催方法: ZOOM ミーティング(オンラインです)

申込み: <http://tinyurl.com/yqyv58hf>

締切: 2月2日(金)

#### 【テーマ】<人生100年時代>まちとLIFEを考える

研究会も3年目となりました。これまで様々な講師をお迎えして開催してきましたが、昨年来の議論で今一度、研究会に御参集のみなさまと話をする機会を設けようということになりました。

テーマとしたLIFEは日本語では「人生」であり、「生活」と分けられますが、英語圏では人生=生活の意味します。そこで今回は人生という時間軸と生活という空間軸のなかで「まち」はどう私たちと共にあるのかをみなさまとざっくばらんに語り合いたいと思います。

詳細: <https://x.gd/nUFZn>

問合せ先:

北本 美江子 [QYA00763@nifty.com](mailto:QYA00763@nifty.com)

三浦 由理 [miura1007@gmail.com](mailto:miura1007@gmail.com)